



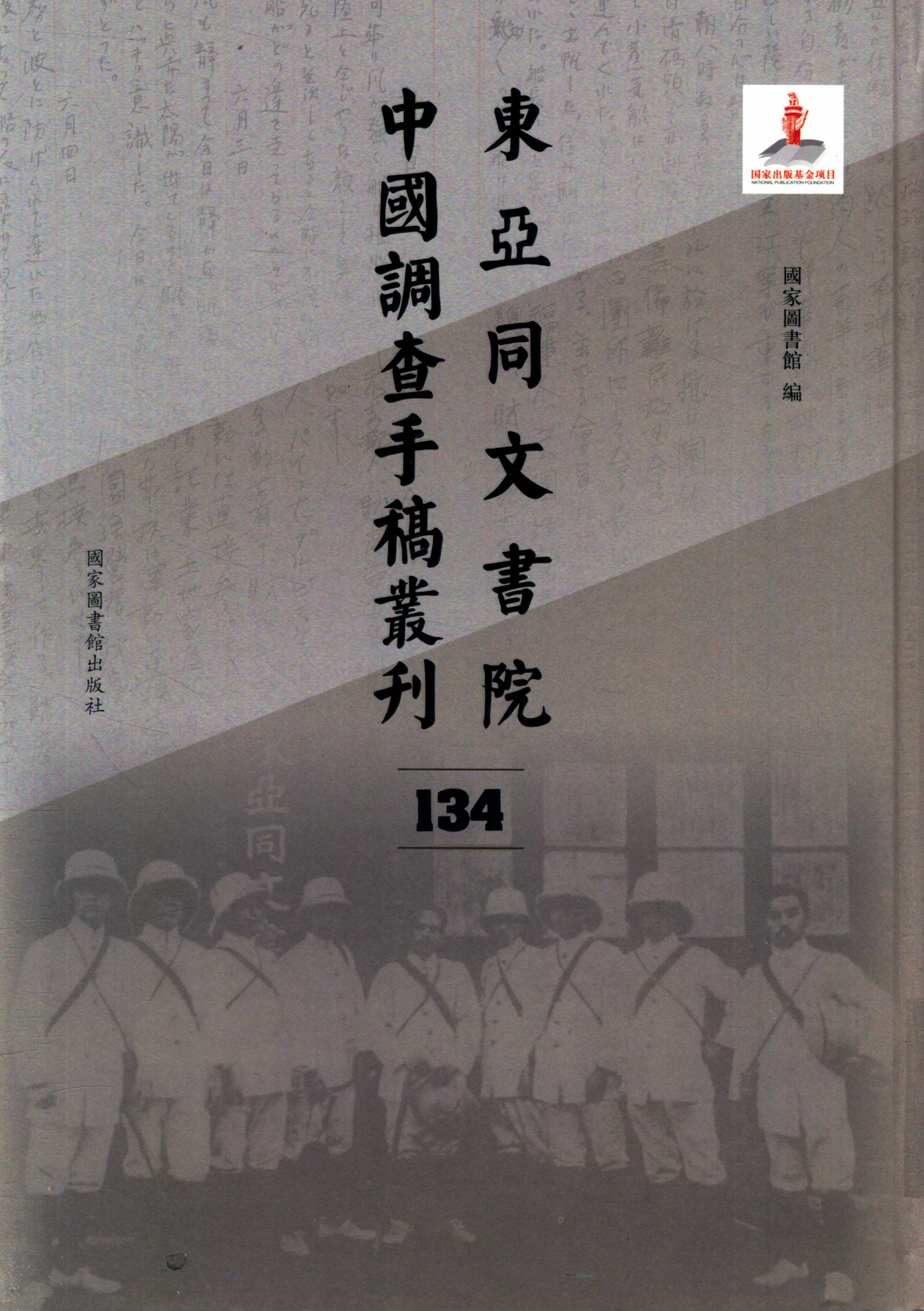
國家圖書館編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

134

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館
編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

134

國家圖書館出版社

第一三四冊目錄

昭和五年（一九三〇）調查報告（第二十七期生）

正太沿線山西北部に於ける羊毛調査

正太沿線山西北部羊毛的調査

東蒙ノ牧畜

東蒙的畜牧

東蒙古及北滿に於ける羊毛及皮革

東蒙古及北滿的羊毛及皮革

對日本貿易ヲ中心トセル南支沿岸各港ノ貿易調査

以對日貿易爲中心の華南沿海各港の貿易調査

數村吉之助

第五十八卷

.....

一

根岸孝彦

第五十九卷

.....

一三五

田添正嗣

第六十卷

.....

二四一

池江善治

第六十一卷

.....

二七三

廣東市場ニ於ケル土炭ノ地位： 狗牙洞炭礦ニ就テ

廣東市場の土煤地位： 關於狗牙洞煤礦

山崎長五郎 第六十二卷……………五〇三

北滿貿易調査

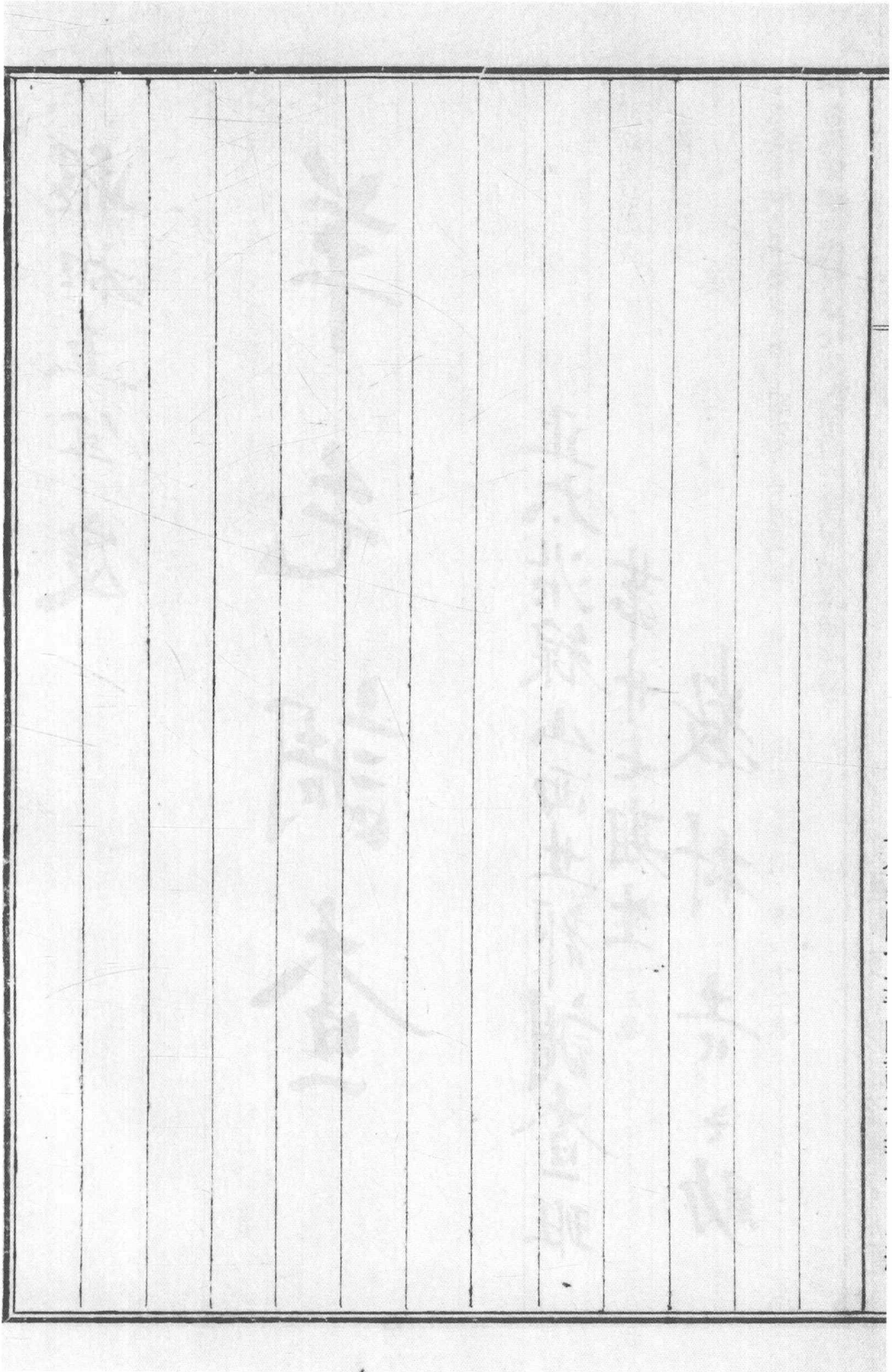
北滿貿易調査

岡村貞一 第六十三卷……………五七五

昭和五年度

羊毛調査

正太沿線山西世部調査班
第廿七期生
数村吉之助



上海東亞
圖書公司
圖書部

序

昭和五年六月に南之祿野千里一望正に
ふ頃余等四年生は各々命を院に受け支那
大旅行の途に赴けり。元、余等同志三名支那
西北一帯を踏破し或は河南、山西、陝西、蒙古にと是
跡を印し以て該地方の經情狀態を調査し且つは支那の
概微に觸れ支那五千年の傳統と歴史とを包摂せる不刊
の扉を叩きんと企てたるも何ぞ天運の世情なる、附止
に廿丈一帯戦火の掩ふ所となり或は西北の飢饉を慨し
得ざるの慘を呈し其の壯志を一部不能に陥らしめ
且つは同志後蘇陸三君病魔に犯され遂に多くの荷物
を負はれて廣茫千里の原に唯 村田季雄君と旅に上ら
ざるべからざるに至り茲に余等日復朝と夕に切望しては躍

るやれり血を憐れ、饒望し来りし大旅りも聊か削減するに
至りたる誠に遺憾とするものなり。

惟ふに支那の羊毛を調査するに當りては青海、陝西、新
疆等組、列りて实地調査をなす事肝要あるに既に
述べるやれり余等は止まほ、山西、察哈爾、綏遠、直
隸、河南に限られたるを以て之を調査とせば充分なりと
謂ふを得ず。然れども既に足跡を及ぶる外に於ては細
密に調査したるを以て補、微意を尚一たるものと考ふ。

本編は第一章に於て支那羊毛の一般を略述し第二章
に於て旅り地を中心にして羊毛に關し述べ第三章
に於て統計を附したり。

調査研究の爲に列りては或は洩小要を書き下す其の概
に表表するに當りて十分に致さざりしと云ふ多しありと信ずる

ものたれど呈出時期既に迫り僅少なる時日中に之
や完稿を終ふるの必要あり、匆々として筆を運びしもの
なれば寧ろ閱者諸賢の原諒と訂正との程を茲に
懇願する次第なり。

終りに嗟み本調査をおすに當り妻大の指教と援助
とを賜りたる張家口領事山崎誠一郎氏、天憐方工舎
議事書記官長小林氏、三井洋行齊藤氏、又武鳳
山氏に厚謝の意を表す。

昭和五年十二月廿一日

虹橋踏歩会にて

数村吉と助誌す。

參考資料

馬場教授著

支那重要商材

安原美佐雄氏

支那の工業と原料

滿鉄調査課

支那羊毛

久重福三郎氏

支那の羊毛と就て

黒田登氏

天津市場に於ける支那羊毛

東亞同文會

支那年鑑

天津商工會議所

天津貿易年報

上海商工會議所

經濟川報

張家口日本領事館

張家口貿易年報

Annual Wool Review, 1927.

Wool year Book, 1929

羊毛調査 目次

第一章 緒論 一頁

第二章 支那羊毛概論 三

第一節 支那羊毛の產地 三

第二節 支那羊毛の産額 五

第三節 支那羊毛の種類 七

第四節 支那羊毛の品質及其鑑定標準 九

第五節 支那羊毛の輸出額 一三

第六節 支那羊毛の相場 一五

第七節 世界羊毛市場に於ける支那の地位 一七

第三章 本論

第一節 天津に於ける羊毛 二一

第一項 概論

二一

〃二 天津に集散する羊毛の產地

二三

〃三 天津市場に於ける羊毛の相場

二五

〃四 羊毛の出廻時期及經過地

二七

〃五 天津に於ける羊毛輸出額

三三

〃六 羊毛輸出地、数量及相場

四七

〃七 羊毛取引方法及高價慣習

五四

〃八 天津に於ける羊毛賣

五六

第二節 山西省大同に於ける羊毛

五七

第三節 綏遠省に於ける羊毛

五八

第一類 歸化城に於ける羊毛

五八

第一次 概論

五八

〃二 羊毛の種類及価格

六〇

「三」	羊毛の取引状態	六一
「四」	羊毛取扱費	六六
「五」	羊毛運送費	六七
「六」	歸化城市場の将来	六九
第二款	包頭鎮に於ける羊毛	七一
第一項	羊毛の種類及価格	七二
「二」	概論	七一
「三」	羊毛の取引状態	七四
「四」	羊毛取扱費	七七
第四節	張家口に於ける羊毛	七九
第一項	概論	七九
「二」	羊毛取扱費	八一
一、甲	概説	八一

二、五

羊毛

輸移出入

統計(羊毛)

八二

三、

羊毛

取取取

一一四

四、

羊毛

取引慣習

一一六

第五章

結

論

一一九

以上

第五十八卷 正太沿線

山西北部に於ける羊毛調査

第一章 緒言

近年在界各國を通じて毛織物及毛製品の需要愈々増
加し欧米に於ける毛織物工業の發達に伴ひ我國も亦大に
斯業の勃興に赴き殊に欧州大戰以來一入之を促進する
所あり。従つて之が原料毛の收得には各國競つて努力し我
國の如く自国内に全く生産を見ざる所にあるは今次大
戰中に経験せるや如く蒙、南阿羊毛の禁止的輸出制
限に際會せんか直ちに本邦内地斯業に大打撃を受
くるを以て若し斯業を以て常に順調なる進行と發達と
を遂げしめんとすれば先づ原料毛の自由供給法を講ずる

事は実に先快問題と言はざるべからず。我玉識者間
 は勿論世界各國共近年漸く發達の機運に向へる支那
 羊毛に着目し養羊事業を各地に以て、あるは一言を
 俟たざるも而も從來我玉の如きは其の原料毛を遠きより
 仰ぎ頼る困難を感ぜるに照し之を隣邦支那に充分仰
 が得るとせば誠に斯業毛織物工業に便なり。
 惟ふに現今に於ける支那は其の幼稚なる牧羊法により充分
 なる收得を得ず若し之に適宜周到なる改良を加へんか支
 那羊毛の前途大に展望するものあるは自明の理なり。
 此の時にあり我玉識者大に指導にあり其の向上を
 展を計り支那の富を増加すると共に我玉羊毛の供給を
 順且確たらしめ斯業を以て安定たらしむるは眉睫の急務
 にして唇齒補車、實を奉ぐべきなり。

第二章 支那羊毛概論

第一節 支那羊毛產地

支那は土地氣候一般に牧羊に適するを以て何れの地方と雖も牧羊し得ざる所なく將來頗る有望なれども其の主として行はるゝは北支那、綏州、特に蒙古、青海、新疆を以て最も多しとなり。楊子江流域、四川之に次ぐ。江の南方に於ては未だ之を見ず。

今支那各地に於ける養羊、盛なる地方及其の集散市場を見るに次の如し。

青海、阿里、克什代、魯倉、完受、都受、千布索

中剛、

甘肅省、蘭州、甘州、涼州、中衛、肅州、西寧、貴德